

医療行動科学 4 : 503-2-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	*伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：1単位</p> <p>医療は単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在、すなわち、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。慢性疾患や生活習慣病の治療と予防、心身症、障害者、訪問診療など心理学的知識を必要とする健康問題はますます増加の一途をたどっているのが現状である。</p> <p>心理学はギリシャの哲学にさかのぼる伝統的な学問であるが、近年では実証科学として心に関する法則を得ようとしている。「心の科学」あるいは「行動の科学」と呼ばれており、人間の心や行動、対人関係などについて明らかにしようとする学問である。例えば、人間の知覚や認知、記憶や思考、感情や情動などの心的活動は言語的表現、表情やしぐさにあられ、生理反応として生じる。そのために心理学は行動科学とも称される。</p> <p>「ヒトの行動と心理」、すなわち「医療心理学」は、行動、価値観や態度といった情意領域に関して、将来の歯科医療を施行する医療人としての行動基盤とした「心理学的な見方」を習得することに目標をおいている。</p>
担当教員	*伊藤 孝訓、*多田 充裕、*青木 伸一郎、大沢 聖子、※蝦名 直美
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「グラフィック認知心理学」 森 敏昭、井上 毅、松井孝雄 サイエンス社 「グラフィック社会心理学 (第2版)」 池上知子、遠藤由美 サイエンス社 その他、随時紹介する。
実習器材	なし
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、製作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) とする。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の処置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0~60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	より良い患者-医療者関係を構築するには、人の行動の背景心理である医療行動科学を学ぶ必要があります。その基盤となるのが心理学です。少し深く基本からそのメカニズムについて考えてみましょう。専門家の講義が含まれますので積極的に学んで下さい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/25 (水) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理学の役割を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 「医療心理学」について説明できる。 3. 人の行動と心理について説明できる。 4. 歯科医学における心理学の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳) ・苦痛への配慮 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学</p>	*伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/25 (水) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス	B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。	*伊藤 孝訓
2019/09/30 (月) 2時限 10:40~12:10	知覚・記憶	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために認知心理学の知覚・記憶についてを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 知覚について説明できる。 2. 認知について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 心理学とは、ネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	蝦名 直美
2019/10/07 (月) 2時限 10:40~12:10	学習と応用行動分析 (ABA)	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために学習心理と応用行動分析 (ABA)を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 学習心理について説明できる。 2. 応用行動分析 (ABA)について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 学習心理に含まれる項目について、ネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度 4 予防と健康管理・増進</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/07 (月) 2時限 10:40~12:10	学習と応用行動分析 (ABA)	<p>ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。</p>	蝦名 直美
2019/10/17 (木) 2時限 10:40~12:10	パーソナリティ	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにパーソナリティを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 性格、パーソナリティについて説明できる。 2. コミュニケーションスタイルについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 性格と気質についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容などの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳)・苦痛への配慮</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	大沢 聖子 *伊藤 孝訓
2019/10/21 (月) 2時限 10:40~12:10	認知 (態度変容)	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために態度変容を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 態度変容について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 態度変容についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/21 (月) 2時限 10:40～12:10	認知 (態度変容)	<p>1 3 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b QOL <quality of life> e 患者・障害者の心理と態度 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑨災害時の歯科医療の必要性を説明できる。</p>	蝦名 直美
2019/10/28 (月) 2時限 10:40～12:10	動機づけ・感情	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために動機づけと感情を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 動機づけについて説明できる。 2. 感情について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 動機づけと感情についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室、第 2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 3 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ア 健康・疾病・障害の概念 c 社会環境の変化</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-4) 環境と健康 ①環境による健康への影響を説明できる。</p>	蝦名 直美
2019/11/15 (金) 3時限 13:00～13:50	平常試験1・解説 講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室、第 2 実習室</p>	*伊藤 孝訓 *青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/15 (金) 3時限 13:00~13:50	平常試験1・解説 講義		*伊藤 孝訓 *青木 伸一郎
2019/11/18 (月) 2時限 10:40~12:10	災害心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために災害心理学を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 災害時の心理と行動について説明できる。 2. 喪失に伴う悲嘆反応について説明できる。 3. 災害による心理的ダメージのケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：災害心理についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養の事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b QOL <quality of life> e 患者・障害者の心理と態度 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑨災害時の歯科医療の必要性を説明できる。</p>	蝦名 直美
2019/11/25 (月) 2時限 10:40~12:10	ストレスと健康	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにストレスと健康を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 全人的医療モデルと患者の理解について説明できる。 3. ストレスが招く心の病について説明できる。 4. 患者の不安、ストレスと心理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 ストレスについてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養の事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳)・苦痛への配慮 歯科医学総論 総論IV 主要症候 1 全身の症候</p>	*多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/25 (月) 2時限 10:40～12:10	ストレスと健康	キ 心理、精神機能 総論Ⅶ 治療 9 その他の治療法 コ 精神療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-3) 精神・心身医学的疾患 ⑥心身医学的治療を説明できる。	*多田 充裕
2019/12/02 (月) 2時限 10:40～12:10	心理検査	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理検査を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. ストレスについて説明できる。 3. YG心理検査、自己分析の演習ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 心理検査の種類についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・心理検査を体験する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 ア 意義と目標 c スクリーニング、医療情報の収集 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳)・苦痛への配慮 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑥診断に必要な検査を挙げて説明できる。 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-3) 精神・心身医学的疾患 ③心理テストの目的と意義を説明できる。	*青木 伸一郎
2019/12/09 (月) 2時限 10:40～12:10	判断とエラー	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために判断とエラーの思考を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 注意について概説できる。 3. 判断にまつわるエラーの種類について説明できる。 4. 判断の心理学的背景について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 判断のエラーについてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/09 (月) 2時限 10:40～12:10	判断とエラー	f 行動レベル、行動変容 9 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理社会的側面（プライバシー、尊厳）・苦痛への配慮 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	*青木 伸一郎
2019/12/16 (月) 2時限 10:40～12:10	対人行動	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために対人行動を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 対人行動について説明できる。 3. メタ認知について説明できる。 4. コミュニケーションに関わる心理を説明できる。 5. 言語とコミュニケーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 対人行動についてネットで調べ自習する ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） c 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	*伊藤 孝訓
2019/12/23 (月) 2時限 10:40～12:10	高齢者の心理とケア	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために高齢者の心理とケアを修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者の心理について説明できる。 2. ケアの心理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 高齢者の心理についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・ミニッツペーパーとWebによる教材を視聴する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/23 (月) 2時限 10:40～12:10	高齢者の心理とケア	<p>ア 全身状態の評価 c 心理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b QOL <quality of life> イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 f 地域包括ケアシステム</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ①高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。 ②高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。</p>	蝦名 直美
2020/01/14 (火) 2時限 10:40～12:10	対人コミュニケーション	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために対人コミュニケーションを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 言語的コミュニケーションについて列挙できる。 3. 非言語コミュニケーションについて列挙できる。 4. コミュニケーションエラーについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 コミュニケーションの方法についてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	*青木 伸一郎
2020/01/20 (月) 2時限 10:40～12:10	会話行動を分析する	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために会話行動分析を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療における特異的な人間関係について説明できる。 3. 言語とメタメッセージについて説明できる。 4. 非言語コミュニケーションと心理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者と医師の違いについてネットで調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接</p>	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/20 (月) 2時限 10:40～12:10	会話行動を分析する	<p>a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接</p> <p>b マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応）</p> <p>c 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*青木 伸一郎
2020/01/31 (金) 3時限 13:00～13:50	平常試験2・解説講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p>	*伊藤 孝訓 *青木 伸一郎